



NIIGATA UNIVERSITY

ボランち。1班

新潟大学

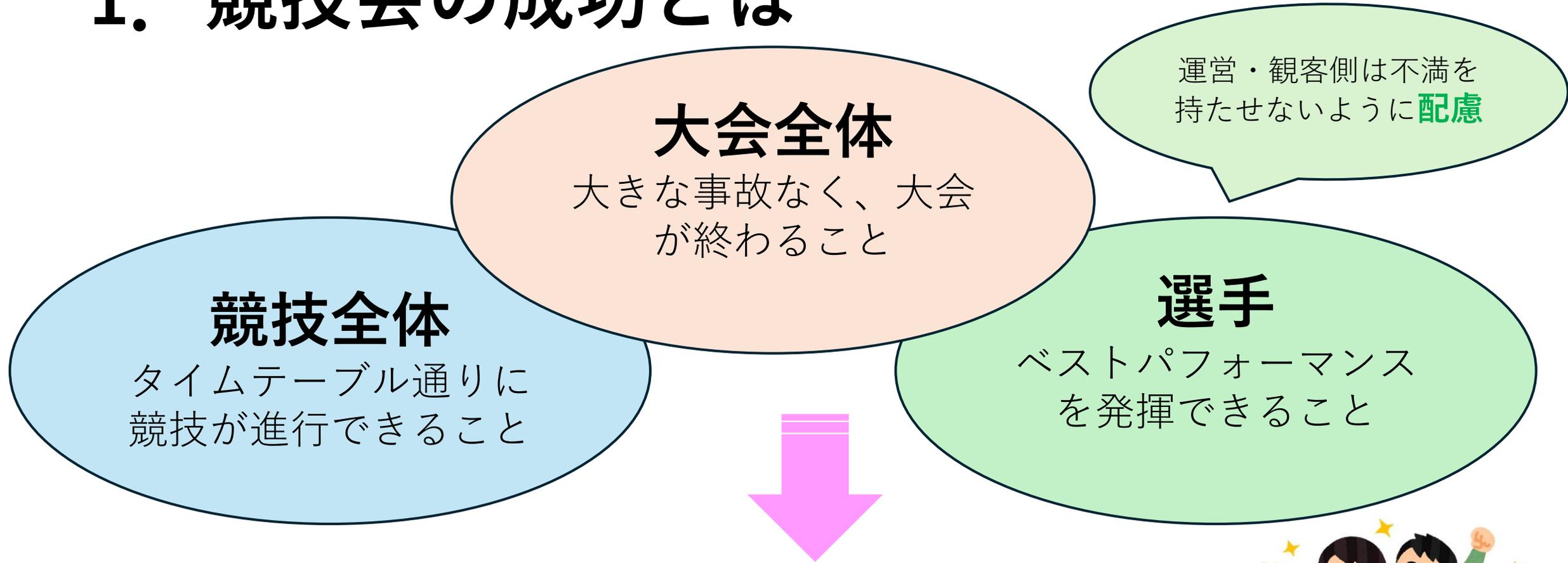
★農学部	2年	原田誠那仁
法学部	3年	竹田実未
経済科学部	2年	萱森 周
人文学部	1年	田村夏生
経済科学部	1年	相馬亜矢

目次

1. 競技会の成功とは？
2. ④ボランティアと競技会の成功
3. ⑥競技会の運営とボランティアの課題
4. ⑦ボランティアと審判（競技役員・有資格者）
の運営のバランス



1. 競技会の成功とは



最後まで選手・観客ともに
喜び、楽しめる！



2. ④ ボランティアと競技会の成功

大会に携わる人口：**陸上の関係人口**が増加

広い視野と広範な行動力

運営の仕事の質UP

予算の余剰を設備
や技術者に投資

より円滑な運営に！

陸上ファン増加!



競技会の成功

おまけ ボランティアと競技会の失敗！？

一方で、割り当てられた仕事に不慣れなボランティアが多いと

ミスが増えたり…

時間がかかったり…

➡ **事前の打ち合わせ**が必須

※運営側は仕事の難易度と
ボランティアの経験の有無を
把握しておくべき！



⑥競技会の運営とボランティアの課題

～前日まで～

- ボランティアへの陸上専門用語の解説は必須！
- 観客に魅せる取り組み・今大会の目標・選手への配慮などもボランティアに共有
➡ 運営の熱意が伝わり、
ボランティアの**士気**↑
- アンケートでどのような活動をしたいかを尋ね、その意見に沿う活動を提供





～当日～

- 熱中症対策や適切な休憩時間を設定

➡ **体調管理の徹底**

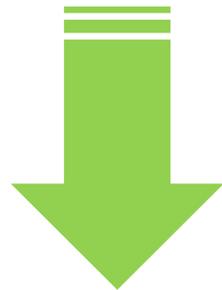
- 連日で参加するボランティアには、場所を変えるなどの工夫

➡ 飽きさせないように！



⑦ ボランティアと審判の運営のバランス

- 事前にボランティア説明会を開催
 - ➡ 顔合わせ・話し合いをすることで、**親睦**が深まる
 - ➡ 当日の動きがよりスムーズに♪
- 予め**運営**も**ボランティア**も、資格を持っていないとできないことをしっかり把握し、それ以外の活動をボランティアに！



そして…

- 役割の配分は、男女の性差以上に、**体格**や**年齢**も考慮すべき
- 審判の補助はボランティアというよりも陸上経験のある、**高校生・大学生**などの補助員に任せてもよいかも…

※この役割分担は少しずつ導入する、**試行錯誤**が必須



さいごに…

ボランティアへの思いやり

も忘れずに♪